

会津若松市ハザードマップ 令和5年版
(2023年版)

「会津若松市ハザードマップ」は、土砂災害や水害の危険箇所をお知らせすると共に、避難所・避難場所などの防災施設情報を地図上に示しており、さらに災害時に役に立つ情報サイトなどを掲載したものです。
災害が発生しやすい箇所や自宅の浸水想定の高さを確認しておくなど、日頃からの備えをお願いします。
洪水浸水想定を算出するための前提となる雨量は、想定し得る最大である「48時間の総雨量533mm」です。

なお、短時間の集中豪雨によって水路などから雨水があふれた場合の浸水については、「会津若松市内水ハザードマップ」をご確認ください。
災害情報の提供元：「最大浸水想定区域」・・・国土交通省・福島県
「土砂災害警戒区域」・・・福島県
お問い合わせ先：会津若松市役所 危機管理課 電話：0242-39-1227 令和5年3月現在の情報です。

磐梯山火山噴火の影響について

磐梯山で噴火が発生した場合、以下の条件において日橋川流域では、「融雪型泥流」が予想されます。

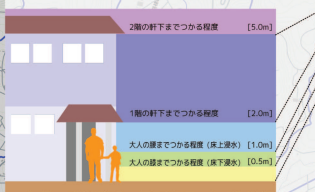
- ・雪の多い時期（真冬）
- ・「マagma噴火」の発生（過去1万年以内に1回発生）
- ・磐梯山の南西側で噴火した場合

なお、融雪型泥流の被害については、河東地区の一部での発が予想されています。
そのため、火山災害の際に開設する避難所は「河東学園」を想定しています。

詳細については、市のホームページに掲載している「火山ハザードマップ」及び「火山防災マップ」をご確認ください。

凡例と水深の目安

大雨で河川が氾濫した時に予想される水深を表しています。水深の目安はおおよそ次の通りです。



凡例

水防情報

●浸水想定

5m以上

2-5m

1-2m

50cm-1m

0-50cm

家屋倒壊等氾濫想定区域

(氾濫流・河岸浸食により、

家屋倒壊の危険性のある区域)

●重要水防箇所

●水位観測所

●土のう配備場所

●アンダーパス

土砂災害情報

●土砂災害警戒区域

●特別警戒区域（土石流）

●警戒区域（土石流）

●特別警戒区域（急傾斜地）

●警戒区域（急傾斜地）

●警戒区域（地滑り）

ため池浸水想定（15箇所）

●浸水想定

2.00m以上

1.00m～2.00m未満

0.75m～1.00m未満

0.50m～0.75m未満

0.25m～0.50m未満

0.25m未満

防災施設情報

●避難所・避難場所

●避難所

●福祉避難所

●避難場所

関連施設

●保健・児童・福祉施設

●児童関連施設

●福祉・保健施設

●医療機関

避難方向

→ 避難方向（洪水浸水）

※矢印の方向を参考にして、河川から離れるように早めの避難をしてください。

→ 避難方向（土砂災害）

※土砂災害警戒区域から離れるように避難してください。

○裏面の「大雨の時の避難方法」をご覧ください。